

## 原因不明の小児肝炎の発生状況

## 小児の原因不明の急性肝炎の入院症例の報告数

2021年10月以降、2023年1月19日10時までの報告状況（※1）

可能性例 （※2）	累積件数		肝移植	SARS-CoV-2 検査陽性	アデノウイルス 検査陽性
	全国	143			
	兵庫県	7			
			3	10	15（※3、4）
			0	0	0

※1：2021年10月まで遡って症例報告を求めているので、全てが調査を開始した2022年4月以降の症例でないことや既に退院した者も含まれていることに留意が必要である。（疫学的関連例は0例。）

※2：暫定症例定義は以下のとおりとする。2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の①、②、③のいずれかを満たすもの：

①確定例：現時点ではなし。

②可能性例：アスパラギン酸トランスアミナーゼ（又はアラニントランスアミナーゼ）が500IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

③疫学的関連例：②の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

※3：アデノウイルス検査陽性例について、内訳は以下のとおり（型は地方衛生研究所におけるウイルス遺伝子の部分配列解析等による精密検査結果）。

-アデノウイルス1型：2件

-アデノウイルス2型：2件

-アデノウイルス3型：1件

-アデノウイルス6型：1件

-アデノウイルス41型：2件

-医療機関で陽性、地方衛生研究所で陰性、型不明6件

-医療機関で陽性、地方衛生研究所で陽性、型判定不能：2件

※4このほか、16例は、地方衛生研究所において検体の精密検査中。